

公益信託「仙台銀行まちづくり基金」 2019年度（第28回）助成先の活動実績について

2020年12月



仙 台 銀 行

受託者 三井住友信託銀行

2019年度 公益信託「仙台銀行まちづくり基金」の助成実績等について

当行は、1992年に当行創業40周年記念事業として公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を創設。
2019年度は、22先に総額287万円の助成を行いました。

【表】2019年度「仙台銀行まちづくり基金助成先」

No.	助成額	助成先	所在地
1	30万円	せんだいわらアート実行委員会	仙台市若林区
2	27.8万円	囲碁将棋ボランティア	仙台市宮城野区
3	25万円	ボランティアサークル ぴいすかんぱにい	登米市
4	25万円	荒町商店街振興組合	仙台市若林区
5	10万円	白石川だいすき倶楽部	柴田町
6		松森・鶴が丘タウン情報マップ作成委員会	仙台市泉区
7		特定非営利活動法人Synapse40	大崎市
8		野蒜塾	東松島市
9		米川ガイドの会	登米市
10		薬師堂商興会	仙台市若林区
11		しばた100選活用チーム	柴田町

(次ページへ続く)

2019年度 公益信託「仙台銀行まちづくり基金」の助成実績等について

【表】2019年度「仙台銀行まちづくり基金助成先」

No.	助成額	助成先	所在地
12	10万円	特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン	仙台市泉区
13		一般社団法人YOMOYAMA COMPANY	丸森町
14		一般社団法人WATALIS	亘理町
15		国分町駆け込み寺（現：仙台駆け込み寺）	仙台市青葉区
16		那智カタクリの里を育てる会	名取市
17		わけすたーず	大崎市
18		二階堂トクヨ先生を顕彰する会	大崎市
19		八幡町商店街ファンコミュニティ（八幡町商店会）	仙台市青葉区
20		BalletoneERI	仙台市泉区
21		特定非営利活動法人Azuma-re	栗原市
22		一般社団法人復興みなさん会	南三陸町

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年内に活動が実施できなかった助成先No.10およびNo.21については、助成金を返却いただいております。

活動実績 1 せんだいわらアート実行委員会（仙台市若林区）

若林区沿岸部の農業と農村の魅力をアピールすることを目的に、農業・食育・アート制作・農村文化体験活動を行い、震災復興と地域活性化に取り組みました。



本助成金は、アート制作費として使われました。

活動実績 2 囲碁将棋ボランティア（仙台市宮城野区）

聴覚障がい者の仲間作り・健康増進を図るため、囲碁講座の開催に取り組みました。



本助成金は、囲碁講座用パソコンの導入費として使われました。

活動実績3 ボランティアサークル ぴいすかんにい（登米市）

子どもの健全育成、ジュニアリーダー育成支援に寄与することを目的に、小学生対象のキャンプ体験イベントを開催しました。



本助成金は、キャンプ用テントの購入費等として使われました。

活動実績 4 荒町商店街振興組合（仙台市若林区）

江戸時代に荒町の特産品であった「回文団扇」の歴史文化を紙芝居にし、地域の子どもたちに伝え残していく取り組みを行いました。



本助成金は、紙芝居制作費として使われました。

活動実績 5 白石川だिसき倶楽部（柴田町）

新型コロナの影響を受け「一目千本桜」関連行事は中止となりましたが、白石川沿岸の清掃活動を通じ、地域活性化に取り組みました。



本助成金は、清掃活動用備品の購入費として使われました。

活動実績 6 松森・鶴が丘タウン情報マップ作成委員会（仙台市泉区）

地域包括支援システム構築のため、医療介護施設や災害時の避難所、日常生活に必要な商店等の情報をまとめた情報マップの制作に取り組みました。



本助成金は、タウン情報マップの制作費として使われました。

活動実績 7 特定非営利活動法人Synapse40（大崎市）

新型コロナの影響を受けワンコインカフェ運営での交流企画が中止となりましたが、代替イベントは中高生や子どもたちの社会的自立を促す取り組みとなりました。



本助成金は、イベント開催費等として使われました。

活動実績 8 野蒜塾（東松島市）

野蒜地区の自然環境、歴史風土の調査活動から環境保護まで幅広い活動を展開し、地域活性化に取り組みました。



本助成金は、調査活動に係る備品購入費等として使われました。

活動実績 9 米川ガイドの会（登米市）

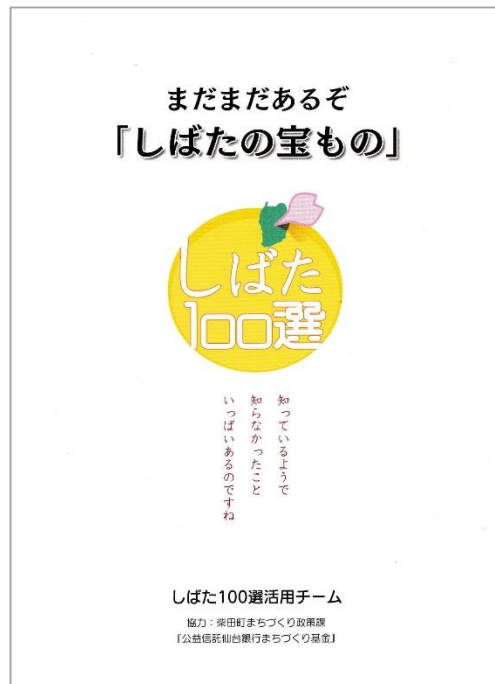
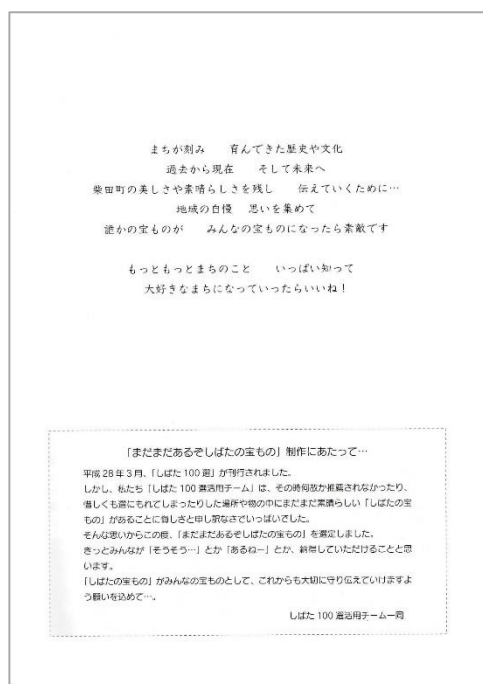
伝統行事「米川の水かぶり」がユネスコ無形文化遺産に登録された米川地区において、ボランティアガイドの活動を通じて地域の魅力を発信する取り組みを行いました。



本助成金は、ガイド備品購入費等として使われました。

活動実績10 しばた100選活用チーム（柴田町）

郷土に伝わる歴史や文化、伝統などを守りつないでいくため、「町の宝もの」を掲載した冊子「まだまだあるぞ しばた100選」を発行し、郷土愛の醸成に取り組みました。



目次	
●素敵な町	P 1
●町民が元気に活動する町	P 2～3
●みんなが張りき、守り育てる美しい町	P 4～6
●長い柴田の歴史がここに 있습니다	P 6～7
●まち自慢の美味しいものはたっぷりの楽しさが	P 8
●愛される自慢のお店	P 9
●柴田町で偉業を成した人	P 10
●みんなのアイドルはなみちゃん	P 11
●柴田町の主な年間イベント	P 12
●参考図書、写真提供、「しばた100選活用チーム」名簿	P 13

本助成金は、冊子の制作費として使われました。

活動実績11 特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン（仙台市泉区）

新型コロナの影響により地域交流イベントは一部中止となりましたが、子育て世帯の孤立を防ぐため見守り支援する活動に取り組みました。



本助成金は、イベント開催費等として使われました。

活動実績12 一般社団法人YOMOYAMA COMPANY（丸森町）

「伊達ルネッサンス塾」と「伊具高校まちづくりゼミ」の受講生が作成した「地域づくりマイプラン」の合同発表会を開催しました。



本助成金は、イベント開催費等として使われました。

活動実績13 一般社団法人WATALIS（亘理町）

世代間の交流と高齢者の知見を記録し周知することを目的に、地域の歴史や文化に関するワークショップを開催しました。



本助成金は、ワークショップ開催費として使われました。

活動実績14 国分町駆け込み寺（現：仙台駆け込み寺）（仙台市青葉区）

東日本大震災からの「心の復興」を目的に、被災地で悩みを抱えている方々の相談を受ける相談員の養成講座、事例研究会を開催しました。



本助成金は、講座開催費等として使われました。

活動実績15 那智カタクリの里を育てる会（名取市）

住民同士の交流並びに自然との共生を目的に、那智カタクリの里散策路の環境整備を行い、散策案内用パンフレットを制作しました。



本助成金は、パンフレット制作費等として使われました。

活動実績16 わげすたーず（大崎市）

新型コロナの影響を受け夏祭り等の地域イベントは中止となりましたが、住民同士の交流を図り、世代の垣根を越えた地域づくりと活性化に引き続き取り組みます。



本助成金は、イベント用備品の購入費として使われました。

活動実績17 二階堂トクヨ先生を顕彰する会（大崎市）

大崎市出身の偉人“日本女子体育の母”こと、日本女子体育大学創始者である二階堂トクヨ先生の顕彰・広報活動を通じ、地域づくりに取り組みました。

日本女子体育の母

二階堂トクヨ先生の住居跡建立の書

日本女子体育の母と尊称され、二階堂体育塾（現在の日本女子体育大学）を創立した二階堂トクヨ先生（1861-1940）は、この大崎市三本木（現大崎市三本木）桑折組の跡十八番地に生まれ、

向学心に燃える若少女は、福助塾学校に学び、女子高等師範（現在の東北女子大学）を経て、東京女子高等師範学校を創設した。身体研究のため、一九二二年（壬辰元凶）釜山留学を命じられ、足蹴四年のロンドン郊外のキングスフィールド体育専門学校に学ぶ。帰国後、「女子体育は生徒の手で」と私財を投じて、一九二二年、多くの困難を乗り越え、東京市代々木山手に国内で初めての二階堂体育塾を創立した。

その後、幾多の女子体育教師や国内中で活躍する若人を入会を募集し、日本女子体育の先駆者として活動を続け、一九四一年（昭和十六年）七月七日、安堵として静かに安眠された。享年六十九歳。現在、東京市神楽坂四丁目堀内にある墓所は、墓所跡は保留地。

トクヨ先生は、一九二八年アムステルダム五輪女子八百メートルで日本人女子初のメダルを獲得した人見絹枝さんなどの弟子を育て、その精神は現在も地味脈々と受け継がれている。二〇一九年に建設された大崎川下「いだてん」にトクヨ先生が人見とともに登場。先生の偉大な先見性と業績、人見、女子体育にかける情熱が紹介され、後世の私たちに大きな勇気と勇気を与えた。

ここに、偉大な二階堂トクヨ先生の生涯四十周年を記念し、大きく顕彰するため、住居跡を知らしめる施設を建立した。

令和九年（二〇一九年）〇月〇日
二階堂トクヨ先生を顕彰する会
会長 佐藤武一郎（元三本木町長）
名誉執行役員 佐々木孝治（元三本木町長）

二階堂の肖像を表にプリントしたクッキー

二階堂クッキー完成 女子体育の功績PR

～ 三本木・大正堂で10日発売 ～

大崎市の三本木生まれ、表にプリントしたクッキーが完成した。10日、育大（東京都）の創設、食品に印字する「フ」として知られる、二階堂に地元の名産菓子製造者、生誕140周年、二階堂トクヨ（1860-1940）の肖像を、大正堂で発売される。

二階堂は日本女子体育の母「日本女子体育の母」大崎市の三本木出身とそれぞれプリントした。原画は、同市三本木のデザイナー、本宮孝太郎さんが、顔写真をベースにイラスト風に描いた。パンラの香りを漂わせながら甘さを抑え、さくさくの食感が特徴という。

大きさは直径5センチ、常温保存可能。1枚120円（税別）。お問い合わせは同店へ。電話0229-623030。3

をどし迎える。そこで「二階堂の功績を多くの人に広めよう」とク

二階堂は日本女子体育の母「日本女子体育の母」大崎市の三本木出身とそれぞれプリントした。原画は、同市三本木のデザイナー、本宮孝太郎さんが、顔写真をベースにイラスト風に描いた。パンラの香りを漂わせながら甘さを抑え、さくさくの食感が特徴という。

大きさは直径5センチ、常温保存可能。1枚120円（税別）。お問い合わせは同店へ。電話0229-623030。3

本助成金は、広報活動費等として使われました。

活動実績18 八幡町商店街ファンコミュニティ（八幡町商店会）（仙台市青葉区）

八幡町商店街の各店舗や地元の施設をより周知するために、地域の学生が取材・作成した記事をまとめ、「八幡マップ・プレス」を制作しました。



本助成金は、マップ・プレス制作費として使われました。

活動実績19 BalletoneERI（仙台市泉区）

新型コロナの影響を受け一部イベントは中止となりましたが、子育て期の母親向けのオンライン企画を実施したほか、機関誌・WEBで情報発信を行いました。



本助成金は、企画開催費等として使われました。

活動実績20 一般社団法人 復興みなさん会（南三陸町）

復興のシンボルの存在である南三陸町復興記念公園の管理・運営に町民が参加していくための活動を立ち上げ、町民参加型のワークショップ等を開催しました。



本助成金は、ワークショップの開催費等として使われました。